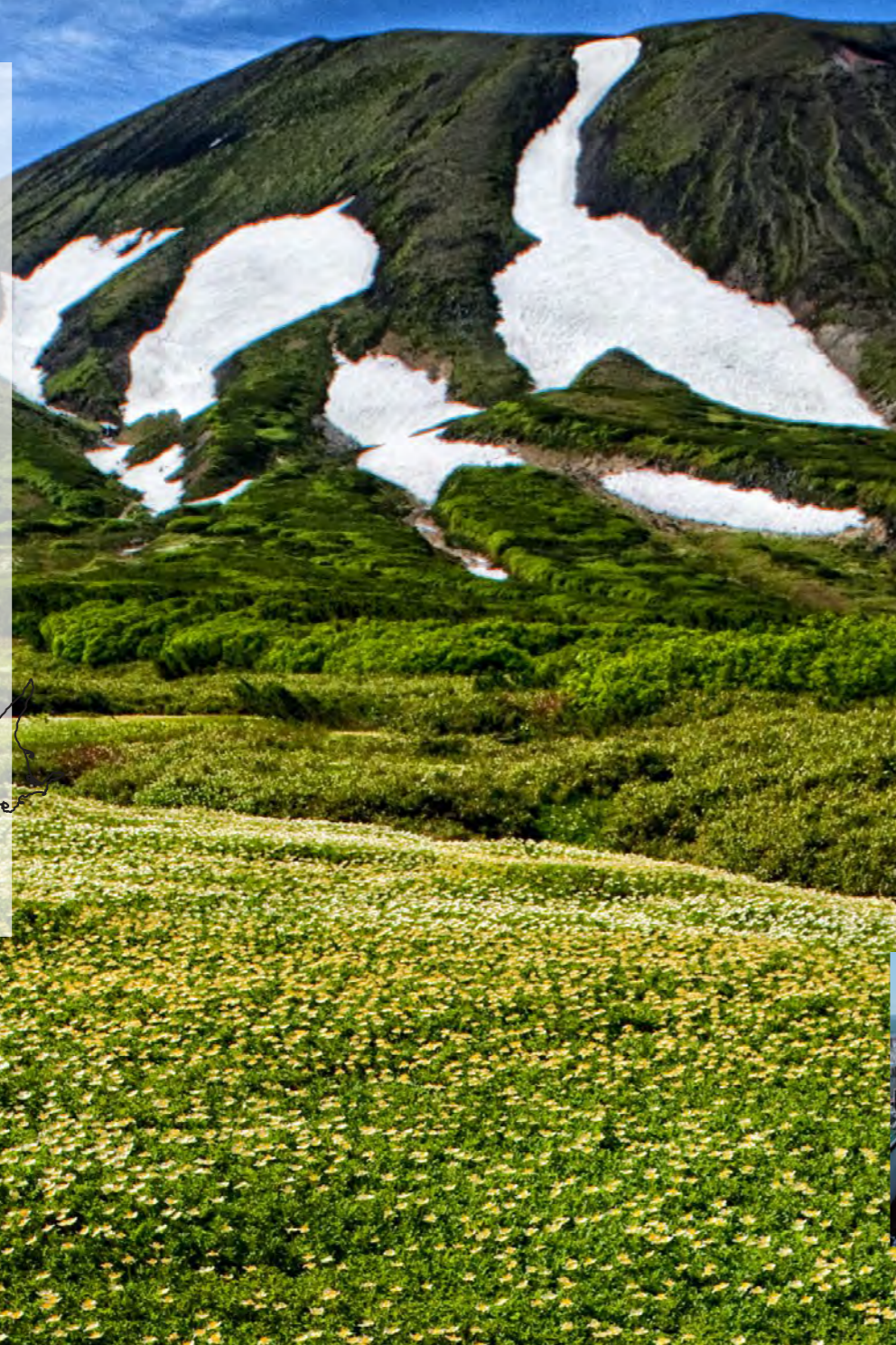


第4回 創造農村 ワークショップ

in
東川町



創造都市 政策セミナー

in
札幌市



創造農村と文化景観ツーリズム

2014年8月9日(土) → 10日(日)

会場: 東川町地域交流センター 多目的ホール

主催: 文化庁、創造都市ネットワーク日本(CCNJ) 共催: 東川町

お問い合わせ: 北海道東川町写真の町課

〒071-1423 北海道上川郡東川町東町1丁目19番8号

Tel.0166-82-2111(内線590)

申込み: 創造都市ネットワーク日本 

文化庁 平成26年度文化芸術創造都市推進事業



文化庁
www.bunka.go.jp



創造都市ネットワーク日本
ccn-j.net/



北海道東川町
town.higashikawa.hokkaido.jp/

芸術祭と創造都市

2014年8月8日(金)

会場: 北海道大学構内 ファカルティハウス「エンレイソウ」

主催: 文化庁、創造都市ネットワーク日本(CCNJ) 共催: 札幌市

お問い合わせ: 札幌市 市長政策室政策企画部 創造都市推進担当課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 Tel.011-211-2136

申込み: 創造都市ネットワーク日本 



文化庁
www.bunka.go.jp



創造都市ネットワーク日本
ccn-j.net/



北海道札幌市
www.city.sapporo.jp/



連携事業

文化庁 平成26年度文化芸術創造都市推進事業

札幌国際芸術祭2014

札幌国際
芸術祭2014
都市と自然
坂本龍一
(ゲストディレクター)

SAPPORO
INTERNATIONAL
ART FESTIVAL
2014
CITY AND NATURE
GUEST DIRECTOR
RYUICHI SAKAMOTO



2014.7.19-9.28

人間と自然が共生する、新しい都市のかたちへ

2014.8.8(金)

会場／北海道大学構内 ファカルティハウス「エンレイソウ」

▶視察ツアー 札幌国際芸術祭「札幌芸術の森美術館」 定員40

9:20 受付(札幌市役所前)、9:30 出発(パークホテル経由)
10:10~11:40 札幌芸術の森美術館視察
11:40 出発(パークホテル、札幌市役所前経由)、12:30 到着(エンレイソウ/セミナー会場)

▶セミナー ファカルティハウス「エンレイソウ」 定員100

14:10~ 受付
14:30~14:50 主催者挨拶・基調講演 文化庁長官
14:50~15:00 開催地挨拶 札幌市長
15:00~16:00 基調講演 北川フラム氏「芸術祭と創造都市」
16:00~16:20 休憩
16:20~18:00 パネルディスカッション
横浜市、BEPPU PROJECT(別府市)、札幌市

▶意見交換会 ファカルティハウス「エンレイソウ」 定員80

18:30~20:00 意見交換会(会費4,000円)

講師 青柳 正規
文化庁長官
<http://www.bunka.go.jp/>



1944年大連生まれ。古代ギリシャ・ローマ美術史研究の第一人者として、30年以上にわたり、地中海各地の遺跡を発掘調査。1967年東京大学文学部美術史学科卒業後、ローマ大学に留学、古代ローマ美術史・考古学を学ぶ。東京大学副学長、国立西洋美術館長を経て2013年7月文化庁長官に就任、現在に至る。東京大学名誉教授。日本学士院会員。2006年紫綬褒章。2011年NHK放送文化賞受賞。

パネリスト 田邊 俊一
横浜市文化観光局創造都市推進課トリエンナーレ担当係長
<http://www.yokohamatriennale.jp/2014/>



2005年横浜市役所入庁。2009年より創造都市施策に従事。2011年4月より翌年3月まで文化庁国際課にて国際文化交流業務に従事。2012年より、横浜市役所にてトリエンナーレ担当係長として、横浜市の創造都市施策とヨコハマトリエンナーレ2014開催業務に従事。

講師 北川 フラム
(株)アートフロントギャラリー代表取締役会長／公益財団法人福武財団常任理事
URL:<http://www.artfront.co.jp>



主なプロデュースとして「アントニオ・ガウディ展」(1978-1979)、「子どものための版画展」(1980-1982)、「アパルトヘイト否(ノン)国際美術展」(1988-1990)など。2000年にスタートした「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(ふるさとイベント大賞・大賞、オーライ!ニッポン大賞グランプリ他受賞)、「瀬戸内国際芸術祭2010、2013」(海洋立国推進功労者表彰受賞)などの総合ディレクターを務める。

パネリスト 山出 淳也
NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事／アーティスト
<http://www.beppuproject.com/>



1970年大分生まれ。2005年に同団体を立ち上げる。平成20年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(芸術振興部門)。別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合プロデューサー(2009、2012)、国東半島芸術祭 総合ディレクター(2014)。

モデレーター 佐々木 雅幸
同志社大学経済学部特別客員教授／文化庁文化芸術創造都市振興室室長
<http://www.creativecity.jp/>



大阪市立大学大学院創造都市研究科教授・同都市研究プラザ所長を経て、2014年4月より現職。創造都市ネットワーク日本の顧問も務める。主著に、『創造都市の経済学』、『創造都市への挑戦』、編著に『創造農村』など。

パネリスト 酒井 裕司
札幌市市長政策室創造都市推進担当部長
<http://www.city.sapporo.jp/>



市民まちづくり局(現市長政策室)情報化推進部IT推進課プロジェクト担当課長、同局企画部企画課長、環境局門山動物園長を経て、2012年から現職。

※敬称略

申込URL <http://ccn-j.net/news/2014/07/seminer-sapporo-2014.html#000198> ※申込締切8月4日 13時



札幌市では「創造都市さっぽろ」の象徴的な事業として今年の夏に「札幌国際芸術祭2014」を初開催します。世界的に著名なアーティストである坂本龍一氏をゲストディレクターに迎え、札幌の歴史文化・風土、地域経済、暮らし方などをアートの視点で見つめ直すことで都市と自然との共生のあり方を問う、従来の展示会の枠組みを超えた新しい形の芸術祭を目指しています。市内各所で展開するこの祭典に参加していただき、心ゆさぶる感動と創造性を育む喜びを体感してください。



札幌国際芸術祭2014 テーマ:「都市と自然」
会期:2014年7月19日(土)~9月28日(日) 72日間
主な会場:北海道立近代美術館・札幌芸術の森美術館・札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)

創造都市政策セミナー
「芸術祭と創造都市」
in 札幌市
無料

創造都市の花ともいえる「芸術祭」。昨年、ユネスコ創造都市ネットワークに加盟した創造都市さっぽろで、その可能性について語り合います。

創造農村ワークショップ
「創造農村と文化景観ツーリズム」
in 東川町
無料

農山漁村の持つ豊かな文化資産を活かした地域づくりについて考える創造農村ワークショップ。美しい景観、そして地域と共存するツーリズムのありかた。それぞれの試みを紹介します。



〒060-0808
北海道札幌市北区北8条西5丁目
札幌駅から徒歩20分
地下鉄北12条駅から徒歩15分
※参加にあたっては、いずれもホームページでお申込みください。(先着順)



▶視察受付:東川町役場
▶シンポジウム会場:
東川町地域交流センター 多目的ホール
〒071-1423
北海道上川郡東川町西3号北7番地
旭川空港からバス15分(道草館前下車)
旭川駅からバス40分(道草館前下車)
※参加にあたっては、いずれもホームページでお申込みください。(先着順)

2014.8.9(土)→10(日)

9日受付/東川町役場第一小会議室
10日会場/東川町地域交流センター 多目的ホール

9日 ▶視察ツアー「東川町国際写真フェスティバル、他」 定員40

12:30~13:30 受付(東川町役場第一小会議室)
14:00~18:00 現地視察(写真の町東川賞授賞式、大雪旭岳源水など)
18:00~20:00 ▶意見交換会 cafeLibr(会費3,000円) 定員40
※会場→旭川市までのお送りバスあり

10日 ▶シンポジウム 東川町地域交流センター 多目的ホール 定員100

9:15~ 受付
9:30~ 9:45 主催者挨拶(文化庁)・開催地挨拶(東川町)
9:45~10:35 基調講演 敷田 麻実氏
「創造農村とツーリズム:都市と農村の新たな関係を創る」
10:40~12:30 パネルディスカッション
美瑛町、テマヒマうつわ旅(会津若松市)、東川町
※会場=旭川市間の送迎バスあり ホームページにてお申し込みください

講師 敷田 麻実
北海道大学観光学高等研究センター教授
<http://www.cats.hokudai.ac.jp/~shikida/>



石川県庁に勤務、その間に豪州ジェイムズクック大学大学院留学、金沢大学大学院修了。退職後、金沢工業大学環境システム工学科教授を経て、2007年から現職。専門はエコツーリズムと地域マネジメント。「地域からのエコツーリズム」「観光の地域ブランディング」ほか論文多数。知床地域科学委員会委員、北の観光まちづくりリーダー養成事業座長などを務める。

パネリスト 貝沼 航
株式会社明天 代表取締役／テマヒマうつわ旅 主宰
URL:<http://tematrip.com/>



会津若松市在住、34歳。2005年に福島県初の社会的企業として株式会社明天を設立。設立以来、伝統工芸の産地活性化をミッションとして、産地インターンシップによる後継者育成事業、全国の若手デザイナーと職人の連携による新商品開発事業、飲食店を中心とした販路開拓事業などを行ってきた。現在、活動の集大成として「テマヒマうつわ旅」を展開中。

モデレーター 野田 邦弘
鳥取大学地域学部地域文化学科教授
<http://www.pref.tottori.lg.jp/>



横浜市職員としてトリエンナーレや創造都市政策策定に関わる。文化経済学会(日本)(元理事長)、日本文化政策学会理事、NPO法人都市文化創造機構理事、鳥取県文化芸術振興審議会長、鳥取県地方自治研究センター理事長、あいちトリエンナーレ実行委員、関西広域連合の「はなやか関西・文化戦略会議委員」、などを兼任。主な著書「文化政策の展開」、「創造農村」

パネリスト 松岡 市郎
東川町長
<http://town.higashikawa.hokkaido.jp/>



1951年北海道東川町生まれ。71年室蘭工業大学中退、72年東川町入庁。社会教育課長、税務課長を歴任し、2003年3月に「新しい世代で郷土の自立を目指そう」と訴え町長となり、前例踏襲せずユニークな政策発信により、独自のまちづくりに取り組んでいる。

※敬称略

申込URL <http://ccn-j.net/news/2014/07/workshop-higashikawa-2014.html#000199> ※申込締切8月4日 13時

東川町国際写真フェスティバルは、「写真の町」東川町民の一年間の集約と新たな出発の意味を合せもった「まつり」として「写真」と「写真を愛する人々」のために開催します。このフェスティバルは、「写真と自然」「写真と人間」「写真と文化」を展開の柱とし、芸術としての写真から写真に親しむ大衆的な文化・娯楽までを組み込み、写真の世界に可能性と広がりを持たせることをもうひとつの重要な展開機軸としています。町内各所で開催されるフェスティバルを体感してください。

東川町国際写真フェスティバル
会期:2014年8月5日(火)~9月3日(水) メイン会期:8月5日(火)~8月10日(日)
主な会場:東川町文化ギャラリー・農村環境改善センター・赤レンガ倉庫
※会場周辺は8月9日、10日の間、歩行者天国として出店やイベントがおこなわれます。

